

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 資本論 | 資本論 (13)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

### 資本論 (13)

#### 資本主義の罠

企業は利益を追求する過程で「効率化」「機械化」をすることで、自分の首を絞めている。

まさに資本主義の罠と言える。

製造ノウハウが機械化されると、その商品を生産するノウハウが簡単にコピーできるようになる。

そうなると、みんなが同じように商品をつくれるようになり、値段が下がり、利益が減る。

生産性を高めて利益を増やそう、ライバルに差をつけて生き残ろうと企業が努力した結果が、やがては自社の商品をコモディティ化し値崩れを起こすのである。

「機械化」には、もうひとつ別の罠がある。

単なる効率化と違い、職場から労働者を減らすという側面だ。

労働者を減らしてしまうことは、企業にとって思わぬデメリットを引き起こす。

機械化し、労働者を減らすことが、逆に企業の利益を減らしていくことになるのだ。

企業が商品を生産して利益を生み出せるのは、労働者に給料以上に働いてもらうからだ。

いくらい材料を使って商品を生産しても、いくらい機械設備を使って生産しても、労働者を雇わなければ剰余価値が生み出されないのである。

価値が増えるのは、生産する過程で、労働者が付加価値を生み出すからだ。

機械を導入し現場が機械化されれば、生産量は増加する。

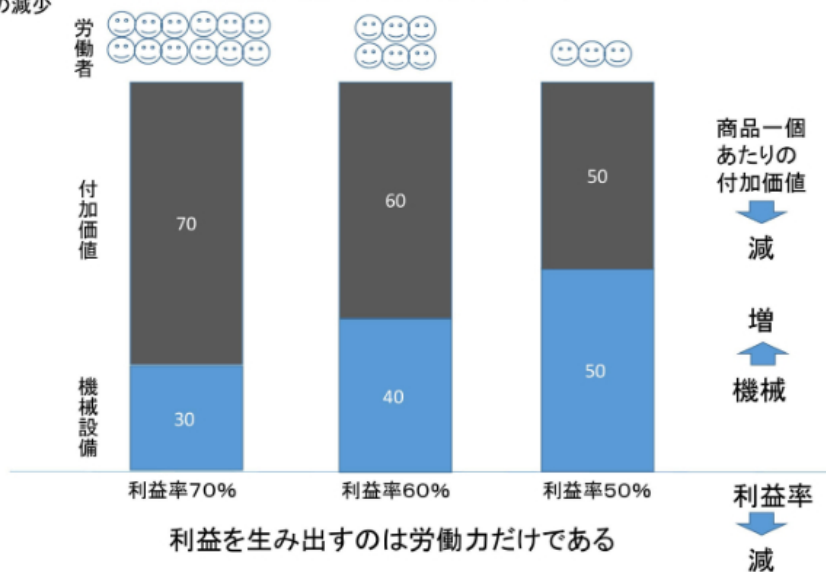
当初は企業の利益は増えるが、そのうちに機械化されればされるほど「商品ひとつ当たりの剰余価値」はどんどん減っていく。

イノベーションがやがて世の中に普及していくことを考えなくてはいけない。

資本主義経済では、イノベーションが進めば進むほど、経済が成熟すればするほど、利益率が下がっていく。

これが資本主義経済の大きな自己矛盾である。

剰余価値の減少 労働力の減少に比例して利益率は下がる



(つづく)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

資料に関するお問い合わせ・お問い合わせ、簡単な会員登録の申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

>>>一覧へ戻る

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.